

# 鳥取県病原微生物検出情報

(令和8年5月検出分 検体採取 令和8年4月及び5月)

令和8年6月12日  
鳥取県衛生環境研究所

## 1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体44件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

### ○検査対象（ウイルス）

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ-A型及びB型、パラインフルエンザ1-4、RS-A型及びB型、ボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナNL63、コロナOC43

### ○検査対象（細菌）

マイコプラズマ

### ○検出結果

44件中34検体（77%）から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：26件、ボカ：5件、ヒトメタニューモ：1件、RS-A型：1件、SARS-CoV-2：1件、パラインフルエンザ1型：1件、パラインフルエンザ3型：1件、アデノ：2件、コロナOC43：4件であった。令和8年1月から令和8年5月検出分と合わせた年齢別検出数は表1のとおり（ただし、検出件数は重複検出を含む。）。

表1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和8年1月～5月検出分）

年齢	病原体年齢別検出数（5月検出数/累積）														合計	
	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≤		44	275
標本数	21	121		10	2	10		23	7	37	10	51	4	23	44	275
ライノ	16	66		3	1	1		6	5	7	4	10		1	26	94
ボカ	5	14		1											5	15
ヒトメタニューモ		1						1			1	1			1	3
RS-A		4									1	1	3	1	1	8
RS-B		4							1		2		4			11
SARS-CoV-2		3							2		9	1	6	1	1	20
パラインフルエンザ1	1	1													1	1
パラインフルエンザ2																
パラインフルエンザ3		1									1	1			1	2
パラインフルエンザ4				1												1
アデノ	2	13									1				2	14
エンテロ																
インフルエンザA型		6		2		2		3		3		2		1		19
インフルエンザB型		3		4		4		4		3		5		1		24
コロナNL63		7								2		1				10
コロナOC43	2	21						4		5	1	6	1	2	4	38
マイコプラズマ								1								1
検出せず	2	18		1	1	3		5	2	14	4	15	1	5	10	61

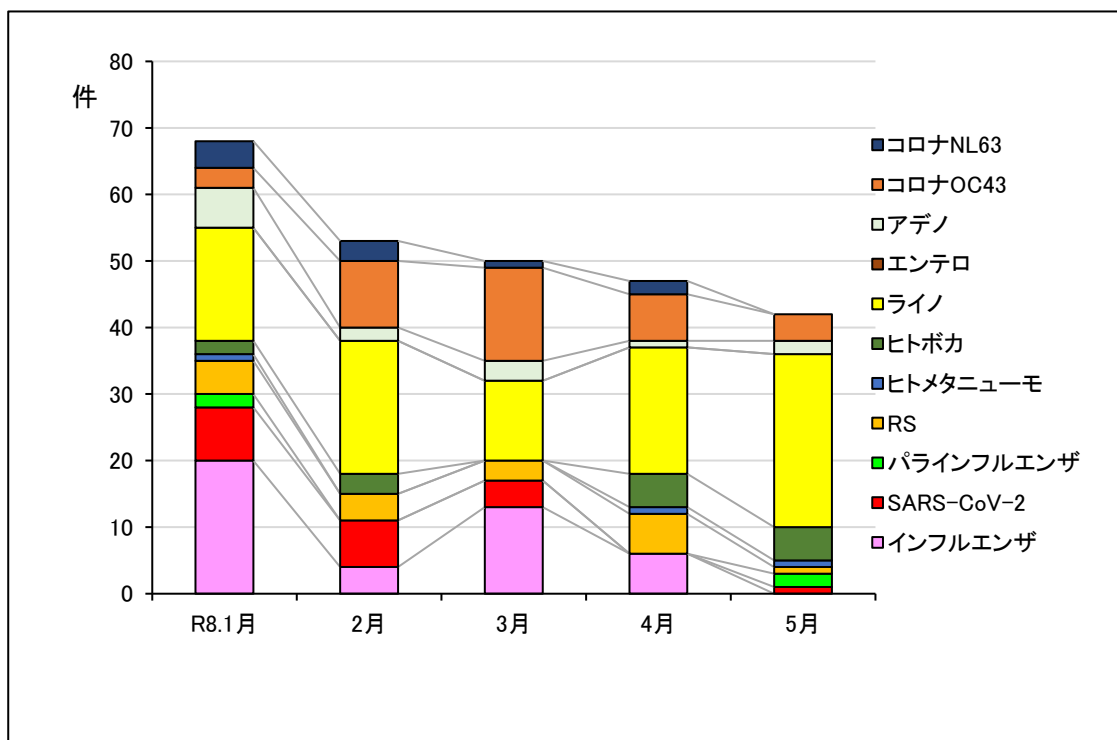


図1. 急性呼吸器感染症の月別ウイルス検出状況 (令和8年1月～5月検出分)

アデノウイルスの2件は、すべてC種2型であった。C種2型は、急性呼吸器感染症の原因となるウイルスである。

## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の12件について検査を行ったところ、ノロウイルスGIIが5件検出された。遺伝子型はすべてGII.P16-GII.4であった。アデノウイルスは感染性胃腸炎の原因ウイルスとされるF種41型が2件検出された。この他アストロウイルスが1件検出された。

## 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の11件について検査を行ったところ、A群溶血性レンサ球菌が8件(T型別3型:4件、T型別4型:2件、T型別不明:2件)分離された。3型、4型は咽頭炎で多くみられる型である。

## 4 RSウイルス感染症

臨床診断名がRSウイルス感染症の2件について検査を行ったところ、B型が2件検出された。症状は咳嗽、鼻汁、発熱、上気道炎、下気道炎であり、呼吸困難などの重症例はなかった。

## 5 水痘

臨床診断名が水痘の2件について検査を行ったところ、2件から水痘帯状疱疹ウイルスが検出された。

## 6 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の1件について検査を行ったところ、アデノウイルスD種64型が検出された。D種64型は流行性角結膜炎の原因となるウイルスである。